

## 課題名 腎疾患診療実態調査の後ろ向き検討

『2017年1月1日から2017年12月31日までに、川崎医科大学附属病院で腎臓内科にて診療（採血・採尿）をされた方へのお知らせ』

### 1. 研究の対象

2017年1月1日から2017年12月31日までに川崎医科大学附属病院腎臓内科で診療をされた患者さんのうち一定腎機能が悪い方

### 2. 研究の目的・方法

腎機能障害は未だ十分な治療が解明されておらず診療上の大きな問題であることがわかっております。同じ腎機能であってもその背景（原疾患や基礎疾患など）により急速に腎機能が悪化する場合があります、**Rapid decliner** と呼び注意が必要であることが知られています。しかしながらその実態は不明であり、頻度またどのような背景が影響しているかなど十分な理解を得られておりません。

この研究では、2017年1月1日から2017年12月31日までに川崎医科大学附属病院腎臓内科で診療をされた患者さんのうち一定腎機能が悪い方を対象に、2014年からの腎機能低下の速度とその背景情報として2014年時点の臨床情報、治療の現状を把握し、診療に役立てることを目的としています。研究期間は倫理委員会承認日より2022年8月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では通常の診療内で既に得られた患者さんに関する情報（年齢、性別、腎機能、貧血の程度など）をもとに解析を行います。このため、新たに患者さんに負担をお願いすることはありません。

また、個人を特定しうる情報をわからないようにして解析に使用するため、この研究で用いられるデータのみから個人を同定することは極めて困難です。研究結果は論文および学会での発表後5年後に破棄致します。

### 4. 外部への試料・情報の提供

特になし

### 5. 研究組織

川崎医科大学 腎臓・高血圧内科学

### 6. お問い合わせ先

ご希望があれば、他の研究対象の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で研究計画及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

この研究について質問のある方やデータの希望されない方は、下記の問い合わせ先にご相談下さい。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。また患者さんに新たな費用負担及び謝礼はございません。

問い合わせ先： TEL 086-462-1111 FAX 086-464-1039

問い合わせ担当者：(研究責任者) 川崎医科大学附属病院 腎臓内科  
長洲 一

E-mail : [hajimenagasu@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:hajimenagasu@med.kawasaki-m.ac.jp)

#### 7. 利益相反

研究結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といます。この研究課題を実施する関係者にはこの研究課題を実施する関係者には鳥居薬品(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、帝人ファーマ(株)、武田薬品工業(株)、第一三共(株)、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、MSD(株)、大日本住友製薬(株)、ファイザー(株)、大塚製薬(株)より奨学寄付金、大正製薬(株)より受託研究費の受け入れ、大日本住友製薬、協和発酵キリン(株)、三和科学(株)より謝礼、原稿料、監修料などの受け入れがあります。利益相反委員会にこれら内容を申告し、適正に管理されています。また、学会発表や論文公表に際しても、この状況を公表し透明化を図ることとしております。